

【眼の病気のおはなし】

その⑤ 網膜の病気（１）「全身病と眼」

網膜には血管が走行しており、眼底写真で観察が出来ます。血管が老化して硬く・細くなっているとき、高血圧眼底・動脈硬化性眼底と診断します。この状態では視力にほとんど関係ありませんが、のちに眼の中に病気を引き起こすことがあります。動脈硬化が進行して血液の流れが極端に悪くなった状態が眼の血管病です。眼底出血や網膜の腫れを生じて急激な視力低下を生じます。また、将来大きな全身血管病（脳梗塞、脳出血、心筋梗塞など）を発症する危険がありますので、内科治療の必要性も示しています。

その他にも眼に病気を生じる全身病があります。主治医の先生とご相談して、眼科受診を検討して下さい。

眼と関連が深い全身病

高血圧症・高脂血症・動脈硬化

（心臓病、脳出血、脳梗塞の加療中の方）

腎臓病・腎不全（人工透析治療を受けている方）

甲状腺疾患（バセドウ病・橋本病）

膠原病・自己免疫疾患

（関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなど）

糖尿病

など